

謹弔

次の会員がご逝去なさいました。謹んで哀悼の意を表します。

藤原幹夫氏	防府医師会	2月22日	享年89
木畑和正氏	宇部市医師会	2月28日	享年68
南園義一氏	防府医師会	3月12日	享年91

後記 編集

「アンコンシャス・バイアス」、ご存知でしょう。

無意識の偏見、本人が気づいていない誤ったものの見方やゆがんだ認知のことを指します。東京五輪・パラリンピック組織委員会前会長の問題は、アンコンシャス・バイアスを学ぶいい機会でした。「女性を蔑視するとかいう気持ちは毛頭ない」との発言は、アンコンシャスゆえの正直なお気持ちなんでしょう。人は誰でもアンコンシャス・バイアス（アンコン）を持っています。人の振り見て我が振り直せ、他山の石として、自分のアンコンをチェックしてみました。

- ①血液型で、相手の性格を想像することがある・・・ない。
- ②九州出身と聞くと、お酒が好きだと思う・・・ない。でも高知出身と聞くと勝てないなと思ってしまう。
- ③「親が単身赴任中」と聞くと、父親を思い浮かべる・・・たっ確かに、そうだ。
- ④「普通は〇〇だ」「たいていは〇〇だ」という言葉を使うことがある・・・気を付けているけれど、つい。
- ⑤性別、世代、学歴、社歴、部署（医者なら専門かな）などで、相手を見てしまうことがある・・・うっ。答えたくない。

もうこれ以上、自分のアンコンを誌面に記す勇気がありません。

祝日や記念日などにその日にあわせたデザインに変更された検索エンジン「Google」のロゴである「Google Doodle」は、1998年の創業以来、日々更新されてきました。そのデザインには、最初の7年間に女性は一人も登場していません。2010～2013年で登場した人物のうち62%は白人男性でした。その指摘を受けたGoogleは、アンコンシャス・バイアスと名付けた教育活動を開始し、現在は全世界で2万人以上の社員がトレーニングを受けています。世界的に、ダイバーシティ&インクルージョンの施策の一つとしても注目されるようになり、日本でも多くの業種の企業が、アンコンシャス・バイアス研修を導入しているそうです。私もこの研修をぜひ受けてみたい、いえ、受けるべきですね。

(常任理事 長谷川奈津江)